



校報

いいの子

木次中学校区のめざす子ども像

- ・ふるさとに愛着をもち、多様な他者と進んで関わる子ども
- ・心身ともに健康で、しなやかさとたくましさのある子ども
- ・自ら判断し、生き生きと表現する子ども

めざす子ども像：学び合う子・助け合う子・元気な子

令和3年3月17日 発行 文責：校長



2月26日に「6年生を送る会」を行いました。一人一人、ポーズを決めながら入場した6年生と一緒に、クイズをしたり、福笑いをしたり、スライドショーで6年間の思い出をふり返ったりしました。

コロナ禍により、様々な制約があった一年間でしたが、毎日の登校や掃除時間、運動会の応援合戦練習などをおして、それぞれの学年なりに6年生の存在の大きさやありがたみを感じていたと思います。下級生は、その感謝の思いを込めて、分担して会場を飾ったり、プレゼントのメッセージカードを贈ったりしました。

「6年生を送る会」の企画・運営は5年生が行いました。本番では担任を頼ることなく、仲間同士で考え合い、協力してステキな思い出を創ってくれました。6年生の役割を引き継いで、4月からは最高学年として頑張ってくれそうです。

令和2年度の学校評価

昨年12月、保護者の皆様に学校評価についてのアンケート調査をお願いしました。ご協力に対し、本紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

2月24日に、学校評議員会を開催しました。その際には、保護者及び児童、教職員による学校評価アンケートの結果を資料とし、学校評議員の皆様からご意見ご質問をいただいた上で、評価していただきました。結果は次のとおりです。

A:十分に達成できた B:概ね達成できているが、さらなる工夫改善を望む C:早急に改善を要する

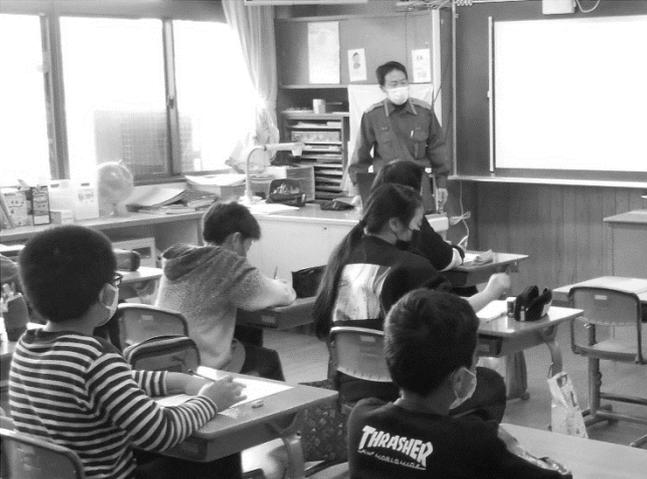
評価計画		学校評議員の皆様による評価	
項目	重点	評価 ABC	コメント
1	新学習指導要領に基づいた教育活動の展開	A	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがお互いをよく知っているという強みがある。 保こ小連携の研究を続けてほしい。 コロナ禍でマスクをしている。声が通りにくいことがあるが、元気さはある。コミュニケーションの取り方がこれからの指導上の課題だと思う。
2	「安心基地」を目指す学級・学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 登校渋りの児童はいるが、不登校の児童はいない。 無記名式などの意見を出しやすいアンケートをするなどして、子どもたちの意見や考えを出しやすいようにしてはどうか。
3	積極的な生徒指導(いじめの防止等のための取組)	B	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いが、以前より良くなってきている。テレビやマンガ、ゲームなどの影響か、子ども同士で一部乱れることがある。
4	特別支援教育の視点に立った授業改善	A	<ul style="list-style-type: none"> 斐伊小学校では、子どもたちが学習を理解しやすい場づくりがあって良い。配慮や細やかな対応がなされている。良い環境である。 子どもたちも個別学習をしている児童を特別視せず、ごく自然に接している。 特別支援教育は本人の気持ちや願いを尊重して対応している。
5	特別支援教育の探究・発展		
6	特別支援学級における教育活動の工夫		

7	基本的な生活習慣の確立	「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底	B	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ゲーム、インターネット、人との関わり、生活リズムは、子どもの課題である。元気アップ週間の時だけでなく、長期休業中も自律的にできるとよい。そのためには、家庭での対応が重要である。 ・講演会の参加が増えるとよい。(コロナ禍で難しいが)
8		スクリーンタイム調整力の向上	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は、個人差があるので、時間だけでなく質も大切だと思う。 ・5年生発信で、「自学」を見合い、お互いにコメントを書く取り組みを続けている。友だちの自学を参考にするなどして、良くなってきている。
9		家庭学習・家読の習慣化	B	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブでも感じるが、家庭でのルールが重要である。 ・メディアをどう利用していくか考えていくとよい。(ルール作り、低年齢化、利用時間の増加などの視点で見る。) ・家でのコミュニケーションを増やすとよい。
10	信頼される学校づくり	・こ保小中との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍のため制限があったが、これからも地域とのかかわり、ふれあいが持てるとよい。
11		・PTAとの連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で野菜などを作ることがあるが、食べられる物(イチゴやトウモロコシ等)にしてはどうか。上手にできた物をただ食べるのではなく、害獣や気候への対策をしながら作るにはどうするとよいかなど、学習を深めるとよい。また、地域の様々な年齢の方を講師にすると、地域講師の担い手が今後も続くのではないか。
12		・地域との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保こ小の連携だけでなく、小中の連携もさらに進めてほしい。小学校では、子どもの主体性を伸ばしたり、我慢や乗り越える力を高めたりしてほしい。
13		・教職員・教育活動の質の向上	A	

この評価結果のほか、保護者の皆様からの評価やご意見、子どもたちの声を真摯に受け止め、来年度の本校の教育活動がより充実したものになるよう、教職員一丸となって取り組んで参ります。今年度一年間、地域の皆様、保護者の皆様には様々な形で協力いただきありがとうございました。令和3年度もよろしくお願いたします。



2月26日に、4年生が高齢者福祉について学びました。講師として来ていただいたのは、雲南市社会福祉協議会の方です。初めに、「福祉とは何か」を教えてくださいました。そのあとは、おもりを手首や足首に巻いたり、関節の動きに制約を加える装具や見えづらくなるような特殊ゴーグルを着けたりした状態で校舎内を歩く疑似体験をしました。これを機に、相手のことを思いやる気持ちを一層膨らませてほしいです。



3月2日と3日に、6年生は職業について考える学習をしました。講師として、保育教諭の方（斐伊こども園）と消防士の方（雲南消防署）においでいただきました。仕事内容だけでなく、職業人としての考え方や願いを聴き、6年生は、どう感じ、何を考えたのでしょうか。自分を見つめ、これからどんなキャリアを積んでいくのか考えるきっかけになってくれればと思います。

- 4月の主な行事予定
- 8(木) 着任式、始業式
 - 9(金) 入学式
 - 12(月) 2年生以上給食開始
 - 14(水) 1年生給食開始、地区児童会
 - 23(金) 学習公開日